

報告第4号 ネクストモビリティバザール2017 in 黒部

- 1 イベント名：ネクストモビリティバザール2017 in 黒部
～未来の小さな乗り物 大集合！～

- 2 主催：黒部市公共交通戦略推進協議会

- 3 会期：2017年8月19日～20日

- 4 会場：黒部市役所交流棟及びポケットパーク

- 5 目的

過疎化の進む地方都市住民や都市部の高齢者を「交通弱者」としないためにも、さらには介護を必要とする方々が自由に移動できる環境を構築するためにも「小さい交通」が注目されている。

この「小さい交通」は、メーカーから町工場までが取り組みを進めており、これらを一堂に集め、実物の展示・試乗、ワークショップなどを行うことにより、次代に求められる新しい交通システム、交通手段を肌で感じ、理解を深め、考える契機とする。

- 6 「小さい交通」を必要とする状況とは

- ・いま日本は、人口減、過疎化、少子高齢化、地球温暖化などの諸課題が進行し、高速鉄道・飛行機・高速道路などを中心とする既存の「大きい交通」では、十分な対応ができない。
- ・過疎化の進む地方都市や都市部の高齢者を「交通弱者」とすることなく、子どもからシニアまで「移動の自由」を享受できる多様な交通システムが強く求められている。
- ・「小さい交通」は「大きい交通」を補完し、新しい可能性を実現する手段として、超小型モビリティ、電気自動車、シニアカー、電動スクーターなど、メーカーから町工場まで多様な取り組みが進んでいる。
- ・自動運転やコネクテッド・カー、IoT など、最新デジタルネットワーク技術による多様なモビリティの可能性が広がりを見せ、新たな交通手段として期待されている。

